

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272100744		
法人名	社会福祉法人柏友会		
事業所名	グループホーム桑寿園		
所在地 (電話番号)	〒038-3104 青森県つがる市柏桑野木田字若宮255番地1 (電話) 0173-25-2115		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年6月24日	評価確定日	平成20年8月5日

【情報提供票より】(平成20年6月2日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年2月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19 人	常勤	17人, 非常勤 2人, 常勤換算 17.8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り(2棟)		
	1・2階建ての	1階	~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

### (4) 利用者の概要(6月2日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	5 名	要介護2	15 名		
要介護3	7 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84 歳	最低	62 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	川崎胃腸科内科医院 布施病院 平田歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

農村の田園のそばに特別養護老人ホームと併設で設置され、環境が非常にのどかで過しやすい環境である。隣地に温泉施設があり、併設施設へ温泉を引き込んでいるので、温泉を好む入居者は併設施設も利用することができる。地域との交流も頻繁に行われ、採れたての野菜など近所の農家から差し入れがあったり、ホームの畑の手伝いに来てもらったりなど交流を深めている。入居者の方々の生活歴や嗜好を職員は専門職として把握し、理解した上で入居者と関わり、ホーム入居者の出来ることを大切に、入居者と適度な距離を保ちつつ支援がなされていた。入居者より突然、外出の希望があった場合はその思いを大切にし入居者に満足感を持ってもらえるような支援を行っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で改善課題として上がった内容に関して、きちんと話し合いを持ち、その中でホームとしての取組を決め実施されていた。災害対策は併設施設と合同練習を行うだけではなく、ホーム独自で計画を立てている。栄養・水分確保の支援は、個別支援として必要な利用者には摂取状況をチェックするなど取組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が外部評価の意義を理解し、前回の評価を活用し全職員で改善に向け、また運営推進会議での意見も含めて質の向上に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では、市町村担当者がホーム側より呼びかけているが、まだ準備が出来ていないとのことで参加されていないとのこと。今後も引き続き参加の呼びかけを期待したい。しかし、法人自体が地域に根差している地域の方は、随時行事の情報を提供してくれ、サービス提供に活用されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>随時ご家族へは、入居者の状態を金銭管理の明細と共にお知らせし、運営推進会議を通じて家族より意見などもらえるような関係作りが出来てきている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域で行われる季節ごとの行事(小・中学校の運動会、虫送りなど)は随時参加し地域の方もお知らせしてくれる。また、ホームの庭にある畑での農作業を地域の方がバックアップしたりと地域交流は密に行われている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスを職員が理解しており、地域との交流を密にしながらグループホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホーム玄関への掲示、毎朝の唱和、名札の裏に表記し日々確認し、意識しながら取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域のお祭り、行事(念仏講・虫送り・餅つき・神楽・小中運動会等)に積極的に参加されている。また、地域の皆さんが、畑作業に協力したりと、グループホームの行事にも参加され、介護相談を受けたりと地域との交流は密に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全職員で行い、まとめ閲覧する事で評価事業の意義を理解している。また、評価終了後は、改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、グループホームの取り組みを公表し、地域の方・ご家族より意見を頂きながら、サービス向上に取り組んでいる。市役所担当者は「まだ、準備が整っていない」とのことでは不参加である。</p>		<p>引き続き、市役所担当者に運営推進会議への出席を働きかけることに期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所担当者とは「いつでも相談は可能です」と良好な関係でサービス向上に常に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業の利用は経験済みで、職員は、研修会への参加で周知を図り、常に相談等へ対応できる体制を整えている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会への参加を通じて理解を深めている。資料はファイルにまとめ職員はいつでも目を通せるようになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>本人・ご家族から不安や疑問点を伺いながら十分に説明し、同意を得て契約をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>緊急の際は連絡・報告ができる体制になっている。担当職員は毎月の通信に個々の様子を記入し金銭管理の明細と一緒に送付している。また、面会時は近状報告、出納の確認印をもらい確認をとっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>施設の窓口やその他の機関を契約書に明記し十分説明している。意見箱や切手を貼った封筒を準備し意見収集や反映に努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限に抑え、3ユニットのグループホーム内での移動を基本としている。交替時は、利用者・ご家族への説明がされ、通信でも紹介がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員の育成への取り組みや、年3回のグループホーム内研修で共通の認識をもてるように取り組んでいる。また、積極的に外部研修へ参加し報告会と復命書の閲覧ができ職員間の情報交換が行われている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国及び地域のグループホーム協会に加盟し、研修会参加や現場実習の受け入れ、情報交換、交流の機会を積極的に作っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人やご家族に施設見学をして頂き、見学できない場合は職員が訪問し馴染みの関係の構築を図り、入居前に利用者の情報収集をし、安心して暮らせるよう配慮されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方は思い思いの時間をゆったり過ごしており、職員は「共に支え合う様に見える大切さ」に配慮しながら、関係作りに留意している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との日常の会話や関わりを大切にし、センター方式を取り入れ意向の把握に努め、利用者の思いを確認しながら支援している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者・ご家族の意向が盛り込まれ、利用者、職員が生活上の気付きを取り入れながら個別の介護計画が作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しはもちろん、利用者の変化に応じて、随時、検討し状態に応じたサービス計画書が作成されている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の状況に応じて、ADL低下の為普通浴困難の場合は、併設施設の特殊浴槽で入浴している。急な受診等での車の手配等活用している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの主治医を継続して定期受診している。職員が送迎・受診介助を行い利用者の状態把握に努め、緊急時の対応にも連携を図っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末に伴い、早い段階で利用者、ご家族と話し合い会議録・ケース記録に記入し方針が共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳に十分配慮した対応がされている。また、記録にも不適切な言葉使いがない様配慮されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりの生活リズムを重視し、できる限りの希望に添って支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の能力に応じ、職員と一緒に準備から後片付けを行っている。ご家族からの持込で献立の変更があったり、食事の選択もあり(パン食)食事中も見守りやさりげない支援がされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日、午後に入浴時間を設けている。入浴困難な方には、言葉掛けの工夫、清拭、足浴を行い、希望で毎日の洗髪を行い支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個人個人の生活歴や得意分野で力を発揮でき、張り合いや喜びの日々を過ごせる様に支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物、理・美容院、病院受診等希望に添って外出され、また、広い園庭での散歩、菜園作りに自由に出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束のないケアを認識し、法人で「身体拘束廃止委員会」が設置され身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関に鍵をせず、見守り、ベル、センサー等の工夫で安心な暮らしを支援している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地域の消防署の協力を得て年1回併設施設合同防災訓練を実施。また、グループホーム独自の避難訓練も実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>併設施設の管理栄養士のもと、献立を作成しバランスのとれた食事の提供がされている。また、個別の水分摂取量、食事摂取量の観察、把握をし必要に応じて支援している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染マニュアルを準備し、管理栄養士・看護師からの指導を受け、流行時はうがい、手洗いの徹底、冬期間はしょうが湯等準備し予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は、明るく落ち着いた雰囲気である。観葉植物や花、利用者の作品等が飾られ利用者にとって居心地よく過ごせる環境スペースとなっている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が安心して過ごせる様に、使い慣れた物の持込を依頼し、使い慣れた家具や写真、本人の作品等を飾り、心地よく過ごせる配慮がされている。		

 は、重点項目。